

2019 年度（令和元年度）

第 2 回 釧路市・釧路町 合同教科用図書  
調査委員会 会議録

2019年度（令和元年度）第2回釧路市・釧路町合同教科用図書調査委員会会議録

- 日 時 2019年（令和元年）7月29日（月） 15：35から16：20まで
- 会 場 釧路市役所防災庁舎5階 会議室A B
- 出席者 調査委員  
事務局 釧路市教育委員会  
釧路町教育委員会
- 議事録署名人

2019 年度（令和元年度）第 2 回鉚路市・鉚路町合同教科用図書調査委員会会議録

事務局（司会） 只今から、第 2 回目の鉚路市・鉚路町合同教科用図書調査委員会を開催いたします。  
本日の議事進行につきましては、委員長が欠席されておりますので、副委員長にお願いしたいと思っております。  
どうぞよろしくお願い致します。

副委員長 調査委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。欠席の委員長にかわり、議事進行をつとめさせていただきます。  
議事に入るにあたって、まず最初に、議事録署名人の方を私の方から指名したいと思います。よろしいでしょうか。特にご異議がないようなので、議事録署名人に指名いたします。どうぞよろしくお願い致します。  
早速、議事の方に入らせていただきます。本日は、それぞれの調査研究結果の概要を各小委員会から説明いただき、皆さんで確認の上、第 20 教科用図書採択地区協議会へ調査研究結果として報告したいと思っております。  
また、説明後に質問・御意見等がございましたらお受けしたいと思いますので、よろしくお願い致します。  
それでは、各小委員会から調査研究の結果について、ご説明を頂きたいと思っております。  
はじめに、国語小委員会から説明をお願い致します。

小委員会説明

【国語小委員会】

国語小委員会から、調査研究結果についてご報告させていただきます。  
国語科改訂のポイントは、言語力育成の中核を担う教科として生活や学習に必要な能力を身に付けるため、記録・報告・解説・推薦などの言語活動を充実させること。話題や取材交流などの指導事項を新たに定め、指導のプロセスを明確化することなどです。古典に関する指導の充実も求められています。  
すべての発行者で、新学習指導要領に則った内容となっておりますが、各者の特徴的事項を簡単に説明します。  
国語において、東京書籍では、全体的に身に付けさせたい「言葉の力」を提示し、課題を明確にしたり、「ふりかえる」で学習したことを確かめたり成長が実感できるようにしています。児童が主体的に学習に取

り組めるような工夫がなされていました。

学校図書は「〇学年をふりかえって」で一年間の学びをふり返る工夫がなされていました。レイアウトの工夫などの使用上の便宜も図られていました。

教育出版は学習の進め方を示したり、汎用性のある学習のポイントを紹介したりするなどの工夫がなされていました。巻頭に学習内容を概観する掲載もみられました。

光村図書は読みの学習過程を明示したり、学習の進め方で明確な見通しをもって学ぶことができるようにしたりする工夫がなされていました。巻末に他教科や日常生活に広げて活用できる付録も掲載されていました。

次に書写です。

東京書籍は、学習過程をわかりやすく図解した「書写の学び方」や、自己評価のための「ふりかえって話そう」など、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされていました。左利きの児童への配慮で、えんぴつの持ち方の写真の掲載もありました。水書用紙がついていて、繰り返し練習できるようになっていました。

学校図書は、学習過程を分かりやすく示した「学習の進め方」や、実際に書き込んで自己評価を行う「ふりかえろう」が全学年に掲載されていました。ユニバーサルデザインフォントを使用するなど使用上の便宜が図られていました。

教育出版は、全学年ガイダンスをするイラストが登場したり、文学教材の視写、新聞を書く学習など、国語の学習との関連を図ったりして、学習意欲を高める工夫がなされていました。学習過程を分かりやすく掲載し主体的にとりくむ工夫もなされています。水書用紙が付属され、低学年の水書用筆の指導への配慮がなされていました。

光村図書は、わかりやすい図やイラストを掲載し、原稿用紙に書く、短歌を書くなど、国語との関連を図り学習意欲を高める工夫がなされています。学習過程を分かりやすく掲載したり、自己評価欄を設けるなど主体的に取り組んだりする工夫もなされていました。書写の日常化や伝統的な言語文化の教材も扱っています。

日本文教出版は、課題解決に向けたヒントを与えるキャラクターが登場したり、本を紹介する学習提案文を書く学習など、国語の学習との関連を図ったり学習意欲を高める工夫がなされていました。当該学年の指導事項を児童向けに示した「〇学年の目標」を掲載したり、左利きでも視写したりするレイアウトの工夫が見られました。

少数意見は特にありませんでした。

副委員長

ありがとうございました。只今、国語小委員会からの説明がありましたが、何かご質問等はございませんか。特にないようですので、後ほど全体の説明が終わってから一括してお受けすることにします。それでは、次に社会小委員会お願いします。

小委員会説明

【社会小委員会】

社会小委員会は、教科書編修趣意書と採択参考資料、学習指導要領の解説、3・4年社会科副読本及び年間指導計画の資料を参考に、合計4回の小委員会を開催し、調査研究対象となった社会科教科書、東京書籍、教育出版、日本文教出版の合計3者、地図では、東京書籍、帝国書院の合計2者、全てについて調査研究しました。

報告では、社会科教科書と地図に分けて説明します。

はじめに、社会科教科書について報告します。

取扱内容について、東書、教出では、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、学習問題を設定し児童に見通しを持たせると共に、調べ活動、話し合い活動を通し考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられ、工夫がみられます。日文では、児童一人一人に社会的事象の見方・考え方が養われるように、「見方・考え方コーナー」が新設され、充実しています。

内容の構成については、各者とも地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように、系統的・発展的に学習ができるよう工夫されました。

分量については、東書が前回よりも5%前後増加し、教出が前回よりも第5学年まで9%前後、第6学年では20%の増加がみられました。日文では第5学年まで20%前後、第6学年では前回よりも3%の増加がみられました。重さについては、各者とも総量には差違がありませんが、東書では第5・第6学年を分冊にしていますので、他者に比べ一冊あたり200グラム程度の軽量化が図られています。

使用上の配慮については、各者とも北海道に関わりのある内容を掲載していますが、特に北海道の関連教材の取り扱いが多かったのは、教出で105ページにわたります。日文では、「森林と私たちの暮らし」の単元で釧路湿原の写真が取り上げられています。また、東書、教出では、学習の進め方が分かるように具体的に示したり、巻末に学習した内容をふり返るページを位置づけたりするなど、学習をより充実させる工夫がありました。

次に地図について報告いたします。

取扱内容につきましては、東書・帝国ともに、巻頭に地図の見方や地図帳の使い方についてイラストや写真を交えて、主体的かつ意欲的に取り組めるような工夫がみられております。帝国では、北海道について縮尺 160 万分の 1 の地図と 100 万分の 1 の地図を掲載し、詳しく学習できるようにしております。

内容の排列・構成につきましては、東書では巻頭の「地図のぼうげんに出発!」、「発見!わたしたちの日本」で学習意欲を喚起したあとに、「日本の 47 都道府県」などで「地図帳の使い方」を学び、「日本列島広域地図」、「日本の一般図」、「世界の地図」を扱い、その後「資料・統計」を掲載し、系統的・発展的に学習できるよう工夫されております。帝国では、巻頭の「地図のやくそく」、「地図帳の使い方」のあとに、日本列島を概観する「広く見わたす地図」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を扱い、その後に「資料図」「統計」を排列し、3年生の地図学習のはじめから6年生にかけて、学年順に系統的・発展的な学習ができるようにし、資料活用能力が着実に身につくよう工夫されております。

分量につきましては、各者とも 120 ページ前後で差違はなく、一冊あたりの重さについても同様に違いがありません。ただ、帝国につきましては、前回よりも 1 ページあたり 15%の軽量化が図られております。

その他としまして、東書では北海道に関わりのあるアイヌ語に由来する地名などを掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がありました。帝国では、「地図マスターへの道」を設け、地図活用の技能や社会的な見方・考え方、順序や条件を考慮して論理的に考える「プログラミング的思考」の育成につなげられるよう工夫がされております。

これで、報告を終わります。

副委員長

ありがとうございました。引き続き、算数小委員会です。

小委員会説明

#### 【算数小委員会】

算数小委員会は、6者それぞれの教科書を調査研究させていただきました。すべての発行者で、新学習指導要領に則った内容となっておりますが、各者の特徴的な事項を簡単に説明させていただきます。

観点としては、教科書の編纂・体系等、それからプログラミング教育、数学的な見方・考え方、幼保小・小中間の円滑な接続、これらについてです。

まず東京書籍ですが、1年生の最初の2単元だけ薄い教科書で構成さ

れています。これをノート代わりにしながら使うという特徴があります。2年生から5年生までは上下巻、6年生は1冊にまとめられています。プログラミング教育に関わりましては、各巻の表紙の裏にURL、QRコードが掲載されて、デジタルコンテンツに繋がりをもっています。数学的な見方・考え方については、虫眼鏡マークを付けて顕在化されています。1年生に関しては最初の2単元の教科書、6年生に関しては「算数数学旅行」で中学校の学習内容にふれています。このような形で、幼保小・小中間の円滑な接続がなされています。大日本図書ですが、各学年ごとの教科書については、すべて一冊にまとめられています。上下巻に分かれてはおりません。プログラミング教育に対応するために、URL、QRコードを掲載してデジタルコンテンツを活用できるようになっています。コンテンツは「scratch」です。それから数学的な見方・考え方については、「発見！考え方」や「ひらめきアイテム」で身に付けた数学的な見方・考え方を別の問題解決に生かすように工夫されています。幼保とのつながりを示唆するオープニングページを設定したり、6年生の巻末「数学の世界へ」によって中学数学の内容に簡単にふれて、接続の工夫をしています。学校図書です。学校図書は一者だけAB版で、少し大きめの教科書になっています。すべての学年が上下巻になっていますが、6年生だけ基本的に一冊で、中学校への引き継ぎのために薄い別冊が付いています。プログラミング教育に関しては、各学年で「プログラミングのプ」とか「グ」というようなページを扱っており、QRコードからデジタルコンテンツを活用できるようになっています。数学的な見方・考え方に必要な9つの考え方を、9体のモンスターで、子どもの興味を引くような形で作られています。中学校へのスムーズな接続のために、「中学校へのかけ橋」において円滑な接続を工夫しておりました。教育出版については、1年生は一冊、2年生から4年生までが上下巻、5年生6年生は各一冊ずつに分けられています。プログラミング教育は、デジタル教材「まなびリンク」のマークから無料デジタル教材にリンクし、独自開発プログラミングのツールで授業を展開する工夫がなされています。数学的な見方・考え方については、「算数のミカタ」で各領域を貫く数学的な見方に焦点を当てて、巻末で全学年での数学の見方を繰り返し参照できるようになっています。それから幼保小・中学校への接続についてですが、スタートカリキュラムや生活科を中心とした合科的活動がなされていたり、6年生の「開け！算数ワールド」で中学数学への内容に簡単にふれられています。啓林館ですが、学年ごとの教科書については、1年生は一冊にまとめ

られ、2年生から4年生は上下巻、5年生6年生は各一冊にまとめられています。プログラミング教育では、QRコードがページの中に掲載されておりまして、学習の参考となるコンテンツが閲覧できるように工夫されています。それから数学的な見方・考え方については、学びの「めばえ」や「めあて」を設定して、巻末の「学びのサポート」の「もっと練習」などの二段階に分けながら、主体的な自主学習に向かえるように工夫されております。スタートカリキュラムでは、幼保小の接続、それから「ひろがる算数」ではキャリア教育との関連がなされております。

日本文教出版に関しては、学年ごとの教科書については、1年生から5年生までが上下巻、6年生は一冊にまとまられています。プログラミング教育に対応するために、「Web」マークがついており、無償デジタルコンテンツがあることを示しています。それから「Scratch」をダウンロードしながらプログラミングに対応しています。数学的な見方・考え方については、巻末の「学び方ガイド」、「算数でつかいたいことば・考え方」を示し、必要なページには鍵マークでこれまでの学習とのつながりや、筋道の立て方・話し合いの留意点などについて示されています。それから幼保小・小中学校の連携に関しては、最初の口絵で幼稚園・保育園の写真を掲載して算数のリンク付け、「もうすぐ中学生」で数学の内容に簡単にふれる工夫がなされております。以上で終わります。

副委員長

続きまして、理科小委員会お願い致します。

小委員会説明

#### 【理科小委員会】

それでは理科小委員会について報告いたします。

小委員会では、教科書編修趣意書、採択参考資料、学習指導要領解説、各者教科書を参考にして、2回の小委員会を開催し、東京書籍、学校図書、大日本図書、教育出版、啓林館の5者すべてについて調査研究いたしました。各者とも、新学習指導要領に則った内容となっておりまして、どこの発行者もQRコードを掲載し、資料として利用できたり、学びの広がりをもたせるように工夫されておりました。また、5者ともにデジタル教科書の発行が予定されています。

では、各者の特徴を簡単に説明していきます。

東京書籍では、大きさを唯一A4サイズになっており、写真・文字が大きく掲載されています。大きさは一番大きいですが、重量についてはページ数の差はありますが、5者の中では重い方ではありませんで



した。吹き出しの中で話し合う視点を明確にしていたり、単元の始まりに「レッツ・スタート」という見通しをもてるページや、巻末、単元のまとめなどが充実していました。ページ数は、概ね5～15%の増量となっています。

大日本図書では、イラストが多く使用されていて、写真では見取りにくい部分を分かりやすく紹介されています。単元始まりには、大きな写真で興味関心を持たせたり、たしかめでは生活と結びつけて生かすような設定がされていました。ページ数は概ね13～37%の増量となっています。

学校図書では、教科書下段のページ横に、単元の経過を示す表示がされており、学習経過が見通せるようになっています。また、単元の始まりには、重点となる活動が示されています。「大事な言葉」という枠を設けており、その言葉はゴシックで強調するなど工夫しています。ページ数は概ね6～29%の増量となっています。

教育出版では、ページ数が他者よりも1割から2割多くなっています。その分資料などが充実しています。重量は5者の中で一番重くなっています。重要な言葉には、「太字」プラス「黄色のマーキング」がされており、とても見やすくなっています。確かめ問題には、どのページに戻るかということも記載されており、復習もしやすくなっています。また、学習の進め方やノートの取り方なども、始めのページを使って丁寧に説明しています。北海道との関わりのある掲載数も多く、ページ数は概ね4～16%の増量となっています。

最後に啓林館では、観察・実験について、一つだけではなく、別な方法なども示されていて、観察・実験の多様性や、興味関心・意欲を持たせようになっています。また、6年生における発展的学習を取り上げている箇所が最も多いのも特徴となっています。QRコードの数も、5者の中では最も多くなっています。啓林館は、5者の中では唯一ページ数が減量となっています。概ね13～19%の減量です。それもあって、5者の中では重量が最軽量となっています。

以上で、理科小委員会の報告を終わります。

副委員長

ありがとうございました。それでは次ですが、ご案内時と順番が変わりますが、体育小委員会お願いいたします。

小委員会説明

【体育小委員会】

体育小委員会は、2回の調査協議を行いました。

5者の出版社で、すべて新学習指導要領に則った内容となっております。

した。北海道に関わるころはあまりありませんでした。それではまず5者の発行者に対しまして、特徴的なことを説明いたします。

東京書籍は、一つ目、学習の展開を4つのステップで進めていること。二つ目、自分の生活に生かせる動画が入っていること。三つ目、学びの記録ができ評価がしやすいこと。四つ目、資料やデジタルコンテンツが充実していること。最後に、3・4年生と5・6年生との系統性が図られていることが挙げられました。

大日本図書は、一つ目、単元の導入で単元の課題が発見できるように、挿絵を見開きで掲載していること。二つ目、学習ゲームやキャラクターの活用、学習資料を「ミニちしき」として掲載し、意欲を図っていること。三つ目、学習の仕方やヒントを提示して、主体的に学べる工夫があること。最後に、学習記録をノートのように書き込める欄を掲載していることです。この教科書だけがA4版ではなくB5版変形型となっております。

文教社は、一つ目、学習の展開が、「動機付け」→「追及・理解」→「実践への意欲付け」の三段階になっていること。二つ目、「情報コーナー」や「発展」コーナーがあること。三つ目、イラストが工夫され、文章表現が簡潔で分かりやすいことが特徴的でした。

光文書院は、単元の始めに学習内容をストーリー形式で示していること。学習意欲を高めるため、WEBサイトのQRコードや、キャラクターの吹き出しなどの表示があること。単元ごとに、学習内容の確認やふり返りができる「学習のまとめ」を掲載していることが挙げられます。

最後に学研教育みらいは、教科書の始めに学習の進め方、学習内容に関する専門家などの解説が掲載されていること。二つ目、単元の始めに、児童が持つ疑問の例や、関連するWEBサイトの情報が掲載され、学習意欲を高める工夫があること。三つ目、ユニバーサルデザインフォントが使用されていること。四つ目、単元ごとに、学習のふり返りや、学びを生かせる「ふり返る」「深める」「つなげる」というページを設けていることが特徴として挙げられました。

その他委員からの意見として、防災や自然災害や、オリンピック・パラリンピックの取り扱いについては、全者で取り扱っているものの、出版社によって軽重があるということ。サイズは、A4版の方が使いやすいのではないかと。デジタルコンテンツや資料が充実していることなどが挙げられました。また、各者主体的に考えるための工夫として、授業ごとに記述する欄が充実してきていますが、その分ページ数が増えていることが難点ではないかとの意見がありました。

以上で説明を終わります。

副委員長

ありがとうございました。それでは音楽小委員会お願い致します。

小委員会説明

【音楽小委員会】

音楽小委員会は、教育芸術社、教育出版の2者の比較という形で協議検討を行いました。研究項目ごとに報告します。

取扱内容については、両者とも系統的、それから2学年ごとのまとまりでの関連性が適切になされている内容になっていました。

内容構成と排列につきましては、やや違いがみられました。まず教育芸術社ですが、キーワードとしては「リズム」。教育出版は「曲の特徴」という、どちらも大きなキーワードとして挙げられるのではないかとという研究結果です。詳しく説明すると、教育芸術社につきましては、低学年のリズム遊び、中学年のリズムアンサンブル、高学年のボイスアンサンブルを作った後に、また反復という系統的・発展的な学習が工夫されています。教育出版につきましては、曲の特徴に合わせて体を動かすというのが、低・中・高学年に連続して配置されており、高学年につきましては曲の特徴に注目した上で、良さを交流する学習を行うというような違いがありました。

分量につきましては、教育芸術社は各学年とも11～16%増量になっています。教育出版は、1～3学年で5～6%の増ですが、4～6年生については、増量がありませんでした。

音楽の教科書には、歌唱教材・器楽教材・音楽づくり教材・鑑賞教材という大きく4つの領域の教材が配置されておりますが、歌唱教材は、両者とも同じような数で推移しておりますが、器楽教材に大きな違いがございました。教育芸術社は、1～4年生については多く配置されており、教育出版の5・6年の器楽のみ、若干数が上回っております。その一方で、音楽づくり教材は、教育出版が多くなっており、4年生のみ1教材少ないだけで、他の学年においては教育出版が多くなっておりました。鑑賞教材は教育芸術社の方が多く扱われており、総ページ数でいきますと、教育芸術社がすべての学年で7ページから9ページ多い分量になっておりました。

使用上の配慮についてです。北海道に関わる教材は、どちらの出版社も扱われておりました。特にソーラン節は、教育芸術社が鑑賞教材として扱われており、一方教育出版は、歌唱教材と鑑賞の両方で取り上げられるという特徴がありました。また、教育芸術社は、キャラクターが全学年を通して扱われておりました。教育出版につきましては、

音楽を形作っている要素を、「音楽のもと」という形で各学年に示されており、全学年に「まなびナビ」、3～6年に「学び合う音楽」というコーナーを設けて、主体的に学習できるように扱われておりました。教育芸術社では、重要事項を「ふり返りのページ」として掲載するとともに、学習シートも工夫する等、わかりやすく配置されておりました。どちらの出版社もユニバーサルデザインを意識して、教育出版につきましても特にユニバーサルデザインフォント、それからカラーユニバーサルデザインということで視覚・視力の弱いお子さんも無理なく歌詞や楽譜が読めるような形での工夫がなされています。また、パラリンアートの活動が教育出版では取り組みとしてなされておりました。最後に少数意見ですけれども、どちらもWEBの資料が掲載されておりますが、教育芸術社の方はQRコードアドレスの方からホームページへ移るところが見やすく示されているところが意見として挙がっておりました。

以上です。

副委員長

ありがとうございました。続きまして、図工小委員会お願い致します。

小委員会説明

#### 【図工小委員会】

図工小委員会では、開隆堂、日本文教出版の2者につきまして調査研究を行いました。その結果についてご説明いたします。

まず取扱内容ですが、2者ともに学習指導要領の目標が達成できるよう、造形遊びをする活動、絵や立体、工作に表す活動、鑑賞する活動、共通事項について、適切な学習活動が取り上げられていました。一つ目の造形遊びですが、開隆堂1・2年上「さらさらどろどろいきもち」の学習では、ダイナミックな活動を写真で提示し、児童の活動の広がりを引き出そうとしていました。日文1・2年下「だんボールに入ってみると?!」の学習では、身近な素材を活用し、低学年児童の興味に合った活動が取り上げられていました。二つ目、絵や立体、工作に表す活動ですが、開隆堂3・4年上「でこぼこさん大集合」の学習では、版になる凹凸のある素材を具体的に記載し、活動のイメージが持ちやすい配慮がありました。日文3・4年下「まぼろしの花」の学習では、自分の想像に合わせて形や色を工夫するイメージが持てるよう、作品名や画材例が豊富に取り上げられていました。三つ目、鑑賞の活動ですが、開隆堂5・6年下「龍をみる」の学習では、想像上の生き物である龍が、古くからさまざまな国や我が国において美術作品の画題となっていることを取り上げています。日文5・6年下「わ

たしの感じる和」では、日本の美術作品が扱われ、日本の美術品や工芸作品を見たり触れたりする活動が取り上げられていました。四つ目、共通事項についてですが、2者ともに表現、鑑賞の活動を通して自分の感覚や行為を通した形や色の気づきや理解、自分のイメージを持つことについて充分配慮がなされておりました。五つ目、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応についてですが、開隆堂3・4年下「わくわくネイチャーランド」の学習において、地形を生かして遊び場をつくるという課題を設定し、見通しを持ちながら話し合い、協力して製作する活動が取り上げられていました。日文5・6年上は、「わくわくプレイランド」の学習においては、ビー玉と木の枝を使って楽しくものをつくるという課題を設定し、見通しを持ちながら設計し、出来上がった作品についてお互いのよさを交流する活動が取り上げられていました。

次に内容の構成・排列・分量等についてですが、内容の構成・排列については2者ともに学校や地域の実態に応じて選択できるように構成されており、発展的に学習できるような工夫もなされておりました。分量につきましては、2者ともに適切な分量となっておりましたが、それぞれの特徴としましては開隆堂がどの学年も114ページで前回よりも27%増で編纂されているのに対し、日文は130ページから136ページで前回よりも14～16%増で編纂されております。また内容の割合ですが、開隆堂は鑑賞のページの割合が造形遊びよりも多いのに対し、日文は造形遊びの割合が鑑賞よりも多い傾向がみられました。

次に使用上の配慮等につきましては、2者ともに北海道との関わりのある題材の取り上げや、主体性を引き出す工夫がそれぞれになされておりました。また、育てたい資質・能力を視覚化して児童に分かりやすくしたり、学んだことを次に生かそうとすることを確かめる「ふりかえり」を設けたり、ユニバーサルデザインに配慮したりということは、2者いずれの教科書にもみられました。

その他ですけれども、開隆堂の教科書にはQRコードが掲載され、作品・製作のポイントや、用具の使い方の動画がタブレット端末等で見られるようになっているということです。一方日文では、同様の動画が指導用のデジタル教材として別途提供される予定となっているということでした。

最後に少数意見としてですが、化学接着剤やのこぎりが最初に扱われる学年が教科書によって異なっているという意見がありました。また日文は全般的に身近で用意しやすい素材や画材による作品例が多いのに対し、開隆堂は新しい素材による作品例も多く、興味を広げる一方

で準備が難しいのではないかという意見もありました。また日文ではアール・ブリュットの作品が取り上げられ、多様性への配慮がみられるという意見もありました。

以上、図工小委員会の調査研究結果についての報告を終わります。

副委員長

ありがとうございました。続きまして家庭小委員会お願い致します。

小委員会説明

#### 【家庭小委員会】

家庭小委員会は、東京書籍と開隆堂の2者について調査研究をいたしました。2者いずれも学習指導要領の改訂のポイントと関連して新しい学習指導要領の内容が適切に取り扱われております。特に生活の営みに係る見方・考え方を働かせるための工夫、主体的・対話的で深い学びの実現を図る工夫がされております。

次に各者の特徴を説明します。1者目は東京書籍です。東京書籍は大きさがA版で大型になったことで文章がより詳しく、実寸大写真の掲載、資料の充実が図られています。また、すべての題材の導入ページの表現が統一され、学習の流れが分かりやすく示されています。各題材は3つのステップで展開し、ステップごとのふり返りを促し、児童が目的を持って学習に取り組むことができるようになっています。題材の構成では、関連する学習内容を併せた題材となっているのも特徴です。例えば整理・整頓の学習と、掃除の学習を併せた題材。涼しい着方と洗濯と涼しい住まい方を併せた題材などがあります。児童の学習意欲を高める工夫として、各種キャラクターや「プロに聞く」などのコラム欄などが工夫されています。

次に2者目は開隆堂です。各題材の扉がイラストや写真で始まっており、児童の興味関心を高めるとともに課題を見つける促しが工夫されています。3つのステップで題材を構成し、「なぜ」という問いで学習の方法が示されています。すべての題材の最後に、「ふり返ろう」と「生活に生かそう」を設けることで、生活への実践を促す構成になっています。内容は、簡単なものから繰り返し積み重ねていくことが特徴で、例えば、湯を沸かす、沸騰した湯でゆでる、水からゆでる等、スモールステップで積み重ねています。実習のページは見開きですべて横流れに示されており、見やすく分かりやすい表現となっています。またQRコードマップがふんだんに掲載されており、動画の活用が分かりやすくなっています。

以上で家庭科の調査研究結果の説明を終わります。

副委員長

ありがとうございました。続きまして生活小委員会お願い致します。

小委員会説明

【生活小委員会】

生活小委員会の発表をいたします。生活科では7者について調査研究をして、今回特徴的なことを説明したいと思います。

一つ目、東京書籍です。東京書籍は唯一A4版です。全体的に、興味関心を高め学習意欲の向上を目指した構成になっています。例えば、学び方を学ぶための「かつどうべんりちょう」は日常生活や他教科での学習につながっています。また、「伝える」「ふりかえり」の活動が大切に扱われていること、それから栽培はアサガオだけではなく他の植物も紹介していることから、地域性を考慮されていると考えました。続きまして大日本図書です。大日本図書は、学習意欲を高める工夫がこれも多くなされています。「探検カメラ」を活用しての「探検ライト」、それから「がくしゅうどうぐぼこ」というコーナーを百科事典のように活用させたり、「せいかつことば」のコーナーでは生活技術や他教科との繋がりを意識した内容となっています。また、表紙が少し変わっており、点字の様な凸凹になっていて、表紙から触る活動、五感を大切にする活動を意識した内容となっています。

続けて学校図書です。この教科書も意欲を喚起する内容が多くなっています。これはA4版よりも少し小さ目のサイズで、変形の版ということです。写真が多くイラストが見やすい。それから「まなびかたずかん」、防災、カードの記入例が適切であると思います。また対話的に学ぶ部分が多く出されていました。

続けて教育出版です。この教科書も子どもの意欲を高める工夫が多くあります。国際理解を意識したということで、教科書の中に黒人の子であるとか白人の子であるとか、当然日本の子、そういうものが掲載されたり、「探検カード」のカード類も子どもたちの手本となるように作られています。またサイコロを使って大事な力を提示したり、「学びのポケット」、「もしも」、それから「まんぞくはしご」など、そういうコーナーで考え方を深める内容となっています。特に釧路市のことが取り扱われていて、そういうところが特徴だと思われれます。

光村図書です。「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」という3つの段階で学習を進めています。イラストが多く、シールに感想や分かったことを書かせて貼るといったような特徴があります。またQRコード、下巻が多いですが、ICT化を取り入れているということが特徴だと思われれます。

それから啓林館です。啓林館も学習の意欲を喚起する工夫がされてい

ます。総ページは一番多い287ページですが、イラストがすごく多く、それから「わくわく、いきいき、ぐんぐん」という学習の構成も特徴です。それからQRコードもありますし、ICT化を取り入れたり、「めくりページ」という欄がありまして、次への活動の動機づけもみえるようになっているということが特徴だと思われま

す。最後に日本文教出版ですが、これも学習の意欲を喚起するような工夫がされています。山折りのしくみだとか、3つの柱になぞらえて学習のめあてを明示してあり、見通しを持たせやすいというような特徴があります。また、最後の方に点字だとか手話、それから国際化の挿絵があり、多様化への配慮がなされているところが特徴だと思われま

す。以上、生活科の発表を終わります。

副委員長

ありがとうございました。それでは外国語小委員会お願い致します。

小委員会説明

#### 【外国語小委員会】

外国語小委員会は、教科書編修趣意書、採択参考資料、学習指導要領解説の資料を参考に、合計2回の小委員会を開催し、7教科書見本本を5委員で担当し、示された調査研究の観点ごとに意見を集約、協議し、それぞれの特徴や違いを明らかにしながら、調査研究を進めて参りました。すべての発行者で新学習指導要領に則った内容になっていますが、どの発行者も、4技能「聞くこと」「読むこと」「話すこと、やり取り・発表」「書くこと」及び主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、的確に取り上げ編修されておりました。ここで、各者の特徴的事項を簡単に説明させていただきます。

東京書籍では、別冊にて「Picture Dictionary」というものが作られており、学習者が復習や表現をふり返りたい時に活用できるように編修されておりました。この別冊については非常に特徴的なものであります。

開隆堂では巻末にて「この教科書で学んだことリスト」というものが掲載され、自ら学んだことをふり返ることができるように編修工夫されておりました。

学校図書では、「Songs for Lessons」、「Use & Check」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を多数設け、学習意欲を高める工夫がなされています。

三省堂では、巻末に各学年で学習する主な表現のページを設け、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がされておりました。

教育出版では、グループで取り組むワークやクラスで一つの制作物を



作成するワークなどがあり、友達の良い点に気づきながら自己理解、他者理解へとつながるよう、そういうようなものを工夫されていたページがありました。

光村出版では、各 Unit の始めに「Goal」と「Hop-Step-Jump」というものが示されており、何ができるようになるか、何をどのように学ぶのかが分かりやすく示されておりました。

啓林館では、Lesson の冒頭に「GOAL」、最後に「Looking Back」という項目を設け、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされていました。

このようにいずれの発行者も児童が楽しみながら外国語に慣れ親しみ、活動を通して身に付けていけるよう工夫した構成編修となっております。またいずれの発行者も児童が読みやすい・書きやすいフォントを使用し、活動に生かせるようミシン目入りのカードを用意したり、使用上の便宜が図られていました。

以上で外国語小委員会の調査研究結果の報告を終わります。

副委員長

ありがとうございました。続きまして道徳小委員会お願い致します。

小委員会説明

#### 【道徳小委員会】

特別の教科、道徳小委員会は合計4回の小委員会を開催し、調査研究対象となった、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきの合計8者すべてについて調査研究を行いました。調査研究項目ごとに報告をさせていただきます。

まず取扱内容につきましては、8者それぞれにおいて学習指導要領の目標・内容等に準じ、各学年を通じて自立心や自律性、生命を尊重する心や、他者を思いやる心を育てるとともに、自然の美しさや偉大さ、国や郷土への誇りや愛情を感じることができる内容を取り上げております。また、各学年段階においていじめの防止や情報化に対応した情報モラルに関する内容を取り上げる等、児童の日常生活に生かされるものとなっております。

次に内容の構成・排列・分量等についてですが、多様な教材を活用しながら自分の考えを基に話し合ったり書いたりする言語活動が工夫されている点や、児童が問題意識を持って多面的・多角的に考えたり役割演技を通して考えたりするなどして、道徳的価値の理解を深められる工夫をされている点が8者に共通してみられます。また8者それぞれに、一つ一つの教材ごとに、例えばということになりますが、「～は

どんな気持ちだったでしょう」、「～と感じたのはどうしてだろう」、「なぜ、～と思ったのか話し合ひましょう」等、児童が1時間の学習の中で考えのヒントとなる問いが記載されていますが、教材ごとの問いの記載採用箇所が各者1つから5つとなっています。具体的な情報になりますが、東京書籍・学校図書・日本文教出版・学研教育みらいの4者では、一つの教材ごとに2つの問いを記載し、廣済堂あかつきは3つないし4つの記載、教育出版・光文書院・光村図書出版の3者では、5つの問いを記載している状況でした。また、教科書の別冊があるかないかについてですが、学校図書・日本文教出版・廣済堂あかつきの3者は別冊があり、道徳ノートとして活用できるようになっています。その他5者については別冊はありません。加えて、北海道の地域素材を掲載している点についても調査しました。その結果につきましては小委員会の報告書の中に具体的な各者の掲載箇所数を記載させていただきましたが、中でも釧路に関わりのある素材を教材文として掲載していたのは、教育出版と日本文教出版の2者で、教育出版は釧路市動物園のタイガとココア、日本文教出版は釧路湿原の野生動物を救う獣医師を取り上げた教材となっています。

内容の排列では、各者年間バランス良く道徳の内容を学べるよう排列されており、内容の分量については、各者年間35時間、1年生は34時間の標準授業時数を実施する中の教材が確保されています。その中で日本文教出版については、補充教材として全学年3教材、光文書院については全学年5教材が追加されています。

最後に使用上の配慮等ですが、各者それぞれにおいて道徳の時間の学び方を紹介したページや、児童が自らをふり返るためのページ、また家庭と地域との連携を図る、連携を深めるためのページを配置する工夫がされております。

道徳小委員会の報告を終わります。

副委員長

ありがとうございました。では最後に特別支援小委員会お願い致します。

小委員会説明

**【特別支援小委員会】**

特別支援小委員会です。特別支援小委員会は、特別支援教育の現状を踏まえながら、2度にわたって委員会を開催いたしました。

現状としては、釧路市及び釧路町では各学校での特別支援学級の設置数が年々増加傾向にあること。それから設置されている学級の障がい種別が多岐にわたっていること。同じ障がい種別の学級の中でも、児

童によっては障がいの程度に大きな差があるという現状がみられました。それから教科学習においても普通学級との交流も進められてはいますが、障がいや発達の種類などに応じた指導が求められており、特別支援学級の教育課程は学習指導要領を拠り所にしながらい、学級ごとに児童の実態を踏まえて編成しているということ。それから4月に入学する新1年生に関しては、障がいや発達の程度が正確にわからないことが多く、選定がなかなか難しい傾向にあること。ということ踏まえて、検定済み教科書の下学年用、それから文部科学省著作教科書、いわゆる星本というもの、それから学校教育法附則第9条に規定する一般図書の3つの領域にわたっての教科書を調査研究いたしました。

特別支援教育の教科書選定については、当該学級の実態や一人一人の児童の障がいの程度、それから発達の程度に則した教科用図書を使用するのが望ましいと思いますが、第20採択地区において採択する文部科学省検定済教科書の当該学年用を使用することが教科によっては適当でない判断した場合は、先ほど言いました3つの領域の教科用図書を選定することが適当と考えます。

3つの領域の教科用図書ですが、特徴としてはソーシャルスキルやコミュニケーションを学ぶ等の実生活に生かせる、例えば具体的に言うと、バスに乗るとか、買い物をするとか、それから家の手伝いをするとか、そういうことが非常に内容的に分かりやすく構成等も工夫されており、個々の児童に充分対応できるものが多かったのではないかと、ということが小委員会の意見です。

以上です。

副委員長

ありがとうございました。それでは、一括して質問・御意見等がありましたらお願い致します。特にないでしょうか。

(特になし)

では、各小委員会の報告どおり第20教科用図書採択地区協議会に答申したいと思いますがいかがでしょうか。ご異議ございませんか。

(異議なし)

異議がないようですので、小委員会の報告のとおり答申致します。

それでは、両教育長正面にお願い致します。

(答申書読み上げ)

只今、無事、答申書をお渡しいたしました。

これをもちまして、私どもの調査研究作業が終了ということになりますが、各小委員会におかれましては、何かとお忙しい中、精力的に取

り組んでいただき、深く感謝いたします。

今後、諸手続きを経て来年度から使用する教科書が決定されますが、色々な出版社の教科書に触れる機会を与えられただけでなく、教員の委員におかれましては、授業を進めるうえで大いに役立つものと考えております。

結びに、皆様のご協力によりまして副委員長の仕事が全うすることができましたことに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

事務局（司会）

副委員長、ありがとうございました。

最後に、第20教科用図書採択地区協議会を代表いたしまして、協議会の副会長でございます釧路町の辻川教育長から、お礼のご挨拶を申し上げます。

釧路町教育長

釧路町教育長の辻川でございます。皆様におかれましては大変お忙しい中、第2回目の調査委員会にお集まり頂きまして誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

6月14日に開催しました第1回目の調査委員会におきまして、教科別に全ての教科書見本を調査研究し、採択参考資料を作成していただくようお願いし、約1カ月にわたり作業を進めていただきました。

この間、各小学校におかれましては、運動会の行事や学期末を迎え、委員となられた先生方には、大変お忙しい思いをお掛けしたと存じます。

また、今回一般の有識者として参加していただきました17名の方々におかれましては、お仕事をはじめとする様々なことがある中、教科書の採択に関わる調査研究をしていただき大変恐縮しておりますと共に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

実際の調査研究作業にあたっては、教科によっては大変出版社も多く、ページ数、それからボリュームの点でも大変ご苦勞をお掛けしたと推察いたします。また、非公開での作業ということで、何かと気苦勞もあったかと存じますが、本日、ここに各小委員会の調査研究結果を基に、採択参考資料として答申を頂き厚くお礼申し上げます。

今後の日程といたしましては、来月の中旬までに、教育委員による審議を進め、それぞれの教育委員会としての考えを整理し、その後にご予定しております釧路市と釧路町との第20教科用図書採択地区教育委員会協議会において、教科ごとに教科書を1種決定するところでございます。そして、この結果を受け、8月の末頃に、それぞれの教育委

員会に提案し、採択の運びとなります。ということをお伝えいたします。

結びになりますが、本日は欠席されていますが今回委員長を務めていただきました、また、副委員長を務めていただきました、それから中心となっていたいただいた小委員会長の方々、そして調査研究に取り組んでいただいた委員皆様方のご協力に心より、本日を迎えることができましたことを心より感謝を申し上げます。簡単措辞ではございますけれども、閉会にあたってのご挨拶と致します。大変ありがとうございました。

事務局（司会）

ありがとうございました。本日のこの会議をもちまして、調査研究の作業の終了ということになりますが、本日答申いただきました結果を基に、釧路市と釧路町の協議会での選考の手続きを経まして、それぞれの教育委員会で教科書の採択をすることになります。採択が完了いたしましたら、皆様へ文書によりご報告させていただきたいと思えます。

それでは、以上をもちまして、教科用図書調査委員会を終了いたします。本日はどうもご苦勞様でございました。

議事録署名人 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_